

## 日本予防理学療法学会 第4回サテライト集会

### 開催趣意

日本予防理学療法学会第4回サテライト集会のテーマは「多職種連携で取り組む予防理学療法の展開」といたします。本学会では理学療法の目的を予防・治療・参加の3つに大別したとき、広く予防に関わる理学療法を研究し、障がいの発生と予防の研究を目指す学会である。そのため、予防として取り上げる領域についても、いわゆるリハビリテーション領域である三次予防だけでなく、二次予防から一次予防にもその領域を広げている。また、その方向性について本学会では2017年1月に「予防理学療法学要論」を発刊し、全てのライフステージに渡ることを発信している。

そこで本サテライト集会においては、2つのシンポジウムを企画し、他学会との連携や多職種で取り組む必要性について取り上げる。シンポジウムⅠでは「理学療法士が展開する新たな予防理学療法」として、ウイメンズヘルス、軽度認知障害(MCI)、バレイ・ダンス、メンタルヘルス、そして訪問リハビリテーションなどの実践活動事例について報告をいただき論じ合える場を提供したいと考えている。また、シンポジウムⅡでは「日本予防理学療法学会へ期待するもの-他学会との連携で取り組む予防医学の重要性-」として、日本整形外科学会が推進するロコモティブシンドローム(ロコモ)、日本骨粗鬆症学会が推進する骨粗鬆症リエゾンサービス、そして日本体力医学会やスポーツ医学会で活躍する講師を招き、本学会へ期待することや提言を頂きたいと考えている。また、一般演題を50題予定し、幅の広い議論が行われることを期待する。本集会で多くの事例紹介や議論を通して、予防として領域の幅の広さやその発展性について、実りある議論が行われることを期待しております。

日本予防理学療法学会 第4回サテライト集会  
集会長 藤田博暁